

バッテリーについて

このメトロノーム/チューナーには単四電池が2本付属しています。バッテリー交換時は本体裏側のバッテリーカバーを外し、+/−の方向に注意して行って下さい。

電源の入れ方

POWERボタンは、電源ON/OFFスイッチ、およびチューナーモードとメトロノームモードの切り替えボタンとなっています。

- ・装置がオフ状態の時にPOWERボタンを1回押すと、電源が入り、チューナーモードとなります。
- ・2回目にPOWERボタンを押すと、メトロノームモードに切り替わります。
- ・3回目にPOWERボタンを押すと、ピッチパイプモードに切り替わります。
- ・4回目にPOWERボタンを押すと、電源オフとなります。



メトロノームモード

電源オフ状態からPOWERボタンを2回押すと、メトロノームモードに切り替わります。このメトロノームは、画面と音声の両方でリズムを認識できます。各小節の1拍目は高音でアクセントが付けられ、緑色のLEDランプが点灯します。2拍目以降は赤色のLEDが点灯します。ディスプレイの針は、設定されたテンポに合わせて左右に動きます。

調節可能な各種パラメータと各ボタンの機能については、以下をご参照ください：

Start/Stopボタン

メトロノームのStartとStopを操作するボタンです。

Volumeダイヤル

本体のサイドに音量コントロールダイヤルがあります。このダイヤルを操作して、ご希望の音量になるよう調節してください。音量を一番下まで下げるとミュート状態となり、ディスプレイ画面のみでテンポを確認することになります。

Up/Down矢印ボタン

UPまたはDOWNの矢印ボタンを使って、テンポを調節することが可能です。UPを押すと速くなり、DOWNを押すと遅くなります。20BPMから250BPMの間でのテンポ調節が可能です。設定テンポはディスプレイの左下に表示されます。

TAPボタン

TAPボタンを好みの速度で押して、テンポを設定することができます。BPMが自動的に算出され、それに合わせてテンポが設定されます。

さらに細かいパラメーターの設定は、Edit Menu画面で行います。

EDIT(BEAT設定)ボタン

EDIT(BEAT設定) ボタンで1小節あたりの拍数を設定できます。2/4、3/4、4/4といった様々な拍子記号に合わせた練習も可能です。EDITボタンを1回押すと、1小節あたりの拍数の設定画面に切り替わります。入力中はディスプレイの数字が点滅します。BEATアイコンが点滅している間に、矢印キーを使って、希望のBPMに設定します。そのまま数秒間おくと、ディスプレイの数字の点滅が止まり、設定値が適用されます。

SUB(サブ)メニュー

SUB(サブ)メニューでは、1拍を四分音符、八分音符、三連符などに分割することができます。EDITボタンを2回押すとサブメニューモードになり、ディスプレイ上の数値が点滅します。数値が点滅している間に矢印キーを使って画面をスクロールすると、1から32の間で選択可能です(設定ペースによって可変)。数値を選択した後で数秒間おくとSUBアイコンの点滅が止まり、ディスプレイ上の新たな設定値が適用されます。

チューナーモード

POWERボタンを1回押すと、本体の電源が入り、チューナーモードになります。

このメトロノーム/チューナーにはコンデンサマイクロフォンと楽器用1/4" ケーブル入力端子があり、アコースティック、エレキのどちらの楽器のチューニングにもご利用いただけるようになっています。入力端子にケーブルをつなぐと、マイクはオフになり、チューニングの妨げとなるような外部シグナルの侵入を防ぎます。

楽器で音を出すと、認識された音程とシャープまたはフラットのLCDメーターがチューナーのディスプレイに表示されます(表示の針がセンター位置よりも左側を指している場合は音程がフラット、右側を指している場合はシャープしていることを意味します)。針がセンター位置の印に合うようにチューニングを行ってください。LCDメーターの針がセンター位置をさすと、チューニングが合ったことを示しています。

⚠ 安全上のご注意と注意事項

あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐためにご使用前によくお読みになり製品を正しく安全にご使用ください。誤って注意事項を無視して取り扱った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容が記載されています。

- ・火災、感電、けが、ショート、故障の原因になりますので改造、修理、分解はしない。
- ・ショート、感電の原因になりますので水滴のついて手でのスイッチ操作や水まわり、風呂場での使用はしない。
- ・火災、故障の原因となりますので灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール類での手入れはしない。
- ・破裂、発火、発熱の恐れがありますので電池を火の中に入れない。
- ・故障の原因となりますので電池は＋を正しく装着しましょう。
- ・電池は指定された(単四電池)を使用し、長時間使用しない時は外しましょう。漏液等で故障の原因となります。
- ・本体、スイッチ、液晶画面に無理な力を加えたり、落としたりすると故障・けがの原因となります。
- ・次のような状況、場所での使用、保存は故障の原因となりますので避けてください。
 - (直射日光のあたるところ、暖房機器の近く、発熱する機器の上など温度が極端に高い場所)
 - (ほこり、ごみなどの多いところ)
 - (風呂場、洗面所、濡れた床など水気、湿度の高いところ)
- ・チューニング時の注意
 - 周囲の雑音や他の電子楽器からのハムノイズを拾い液晶画面がチューニング時の様な表示が出る場合がありますが故障ではありません。楽器の音を出せば正確にチューニングが出来ます。

チューナーのキャリブレーション

本体のEDITボタンを押すと、周波数(ピッチ) 調整モードに切り替わります。画面上の周波数インジケーターが点滅している間に、矢印ボタンでA=430HzからA=450Hzの間で周波数の設定を行います。そのまま数秒間おくと周波数インジケーターの点滅が止まり、設定周波数でのチューナーモードに戻ります。

ピッチパイプ

電源オフ状態からPOWERボタンを3回押すと、ピッチパイプモードに切り替わります。このモードでは、メトロノームチューナーからディスプレイに表示された音が出ます。音程はUP、DOWNの矢印キーで調節が可能です。ピッチ音のオン/オフ調節は、START/STOPボタンで行います。(注：チューナーモードの周波数設定で、このモード時のピッチ音が変わることはありません。) ピッチパイプモード時にPOWERボタンを押すと、メトロノーム/チューナー機能がオフになります。